



鎌田地区
令和7年11月1日現在
総人口 19,813人
(前年比 -206人)
世帯数 9,677戸
発行者 鎌田地区公民館
公民館報編集委員会

10月18日(土)に鎌田地区まつりが 地区公民館、鎌田体育館、福祉ひろばを主会場にして開催されました。サークル活動や個人で取り組んだ趣味の作品はどれも力作ぞろい。体育館では7団体のステージ発表、ゲームやリサイクルコーナー、周辺ではカレーライスなどの食べ物コーナーもあって、終日大勢の人が秋の1日を楽しんでいました。



息を合わせて!



個性キラリ☆子ども陶芸体験教室の作品



輪投げ、
しっかり狙ってね



福祉ひろばではぼんぼんづくりに熱中



日赤奉仕団のみなさん、今年もおいしいカレーライスをありがとう!



鎌田地区が受賞

優良民生委員児童委員
協議会表彰

9月4・5日、全国民生委員児童委員大会が札幌市で開催され、全国から66の優良民生委員協議会が表彰されました。その一つに鎌田地区が選ばれ、代表として牛山喜嗣会長が式典に出席しました。

長年にわたる地域住民への見守り・声掛け・相談・支援のほか、オレンジカフェの創設・ふれあい配食・こんにちは赤

島净化センター卵形消化槽を建築中

両島净化センターでは、現在、11億3千万円近い工事費をもって、同センターで2基めとなる卵形消化槽を建築中です。この施設は、汚泥を人の腸のような働きで消化して量を減らすためのものですが、最大内径16m、体積2700m³の巨大な卵形のタンクで、完成時は高さ25mの卵のうち、地上に出ている16m分が見えるかたちになるようです。

同センターでは、寿・南松本等々の松本市南部地域の汚水を、年中無休で処理していますが、その量は一日当たり約3万2千m³。処理の結果出る汚泥は、一日に10t余りになります。

この卵形消化槽での汚泥の消化の過程で発生するメタンガスから、水素を生成してエネルギー源として利用したり、汚泥を脱水した脱水



**エンジョイ♪
ジョイントコンサート**

11月1日、鎌田地区公

民館主催のジョイントコンサートが開催されました。

今年は鎌田中学校吹奏楽部に続き、鎌田小学校金

管バンド部も悲願の全国大会出場を果たしました。この快挙を祝い、また、磨き上げられた演奏を聴こうと地域の方が大勢訪れました。

コンサートでは小学生の

明るく伸びやかな音色と、中学生の迫力ある演奏に大きな拍手が送られました。そしてフィナーレの合同演奏では、会場が一つとなつて楽しみました。

コンサート後はお待ちかねのランチ交流会です。日赤奉仕団鎌田分団の炊き出しによるカレーライスがふるまわれ、小中学生に協力いただいた地域のみなさんが加わって和やかに食事をしました。

穏やかな秋の一日は、地域の誇りと絆を実感する特別な日となりました。



難感

文化委員の鎌倉むつ子さんがご逝去されました。



工ッ!! 小笠原氏の城がそんな所にあつたの? 文化財課の澤柳秀利講師による「昔、渚に城があつた! 地図データから遺構を探つてみる」文書館講座で知った▼田川大橋の西南、野麦街道の新道にある常徳寺は、その城跡に創建された寺である。山門脇には「渚城跡」の説明文と「渚城」の旧町名碑が立つが、周りは住宅地で城の遺構は見当たらない▼信濃守護小笠原長秀は、善光寺での不遜な態度や権力強化で村上氏や国人たちの反発を買い、大塔合戦に敗れた。京へ逃れ、弟政康に家督を譲り信濃に戻った。応永19(1412)年、渚城を築城し隠棲して、ここで逝去了と伝わる。城は井川城に劣らぬ大きさで二重の水堀に囲まれ、土地が周りより高かつたなど、多くを学ぶことができた▼今に残る文書や地図の整理。現地で住宅地の高低差や水堀の痕跡などをさがし、地道な事実確認をコツコツと積み重ねる。こうして遺跡の真実や歴史を後世に語り継ごうとする郷土史研究者の熱意と努力に心打たれた。(南雲多榮子)